

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第38号

第38週(9月15日～9月21日)

発行年月日:平成15年(2003年) 9月 26日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (38週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (38週)	全国 (38週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	3	343	6	693
	パラチフス	0	0	25	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1934	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	362	6	453
	エキノкокクス症	0	0	15	1	9
	オウム病	0	1	35	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	529	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	81	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	43	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	6	624	6	888
	ツツガムシ病	0	1	136	0	329
	梅毒	0	2	348	4	561
	破傷風	0	1	50	0	105
レジオネラ症	0	1	109	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.78	1.29	2.67	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.34	0.14	0.50	0	0.20	0.50	0	2.00	
感染性胃腸炎	1.00	2.86	2.00	0	0	0	0	0	
水痘	0.34	0.71	0.33	0.25	0	0	0.50	0.50	
手足口病	0.75	0.29	1.50	0	2.60	0	0	0	
伝染性紅斑	0.06	0.14	0	0	0	0	0.25	0	
突発性発疹	0.78	1.00	0.67	1.00	0	1.00	0.75	1.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.41	0.86	0.17	0.25	0.40	0.25	0.50	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.41	0.14	1.00	0	0	0.50	0.25	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	0	2.00	0	0	0	1.00	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	1.00	1.00	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 0.2 0.4 0.6 0.8 1 1.2 1.4
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

4類感染症(定点把握対象)上位疾患発生状況 全数報告感染症(1~4類)の発生状況(全国、滋賀県)

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、大部分の感染症において定点当たり患者数は減少していますが、流行性角結膜炎およびマイコプラズマ肺炎の定点当たり患者数は少しですが増えています。

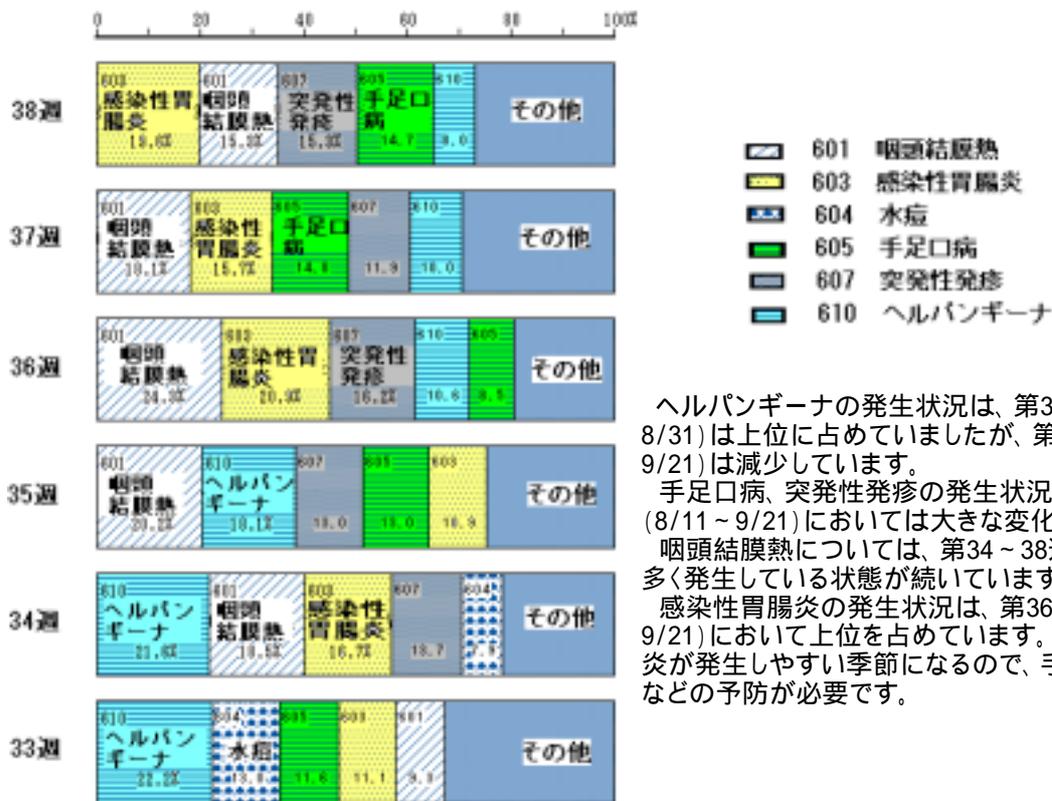
咽頭結膜熱については、先週に引き続き減少し、定点当たり患者数は0.78となっていますが、**草津、大津**保健所管内においては、それぞれ、2.67、1.29となっています。

A群溶連菌咽頭炎については、**今津**保健所管内の定点当たり患者数が2.00と多くなっています。

手足口病については、**草津、八日市**保健所管内における定点当たり患者数が多くなっています。

* 4類感染症(定点把握対象)上位疾患の週別発生状況は下記のグラフのとおりです。

4類感染症(定点把握対象)上位疾患の週別発生状況(平成15年第33週~第38週)



ヘルパンギーナの発生状況は、第33~35週(8/11~8/31)は上位に占めていましたが、第36~38週(9/1~9/21)は減少しています。
手足口病、突発性発疹の発生状況は、第33~38週(8/11~9/21)においては大きな変化はみられません。
咽頭結膜熱については、第34~38週(8/18~9/21)に多く発生している状態が続いています。
感染性胃腸炎の発生状況は、第36~38週(9/1~9/21)において上位を占めています。今後、感染性胃腸炎が発生しやすい季節になるので、手洗いを十分に行うなどの予防が必要です。

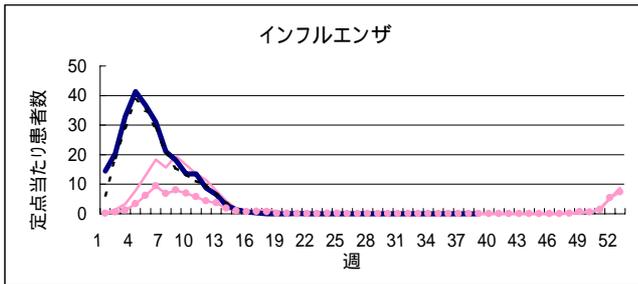
全数報告感染症の発生状況(平成15年1~38週累積報告数、人)

疾患名	全国	滋賀県	疾患名	全国	滋賀県
コレラ	15	0	ジアルジア症	71	0
細菌性赤痢	343	3	髄膜炎菌性髄膜炎	16	0
腸チフス	43	0	先天性風疹症候群	1	0
パラチフス	25	0	ツツガムシ病	136	1
腸管出血性大腸菌感染症	1934	7	デング熱	22	0
アメーバ赤痢	362	2	日本紅斑熱	35	0
エキノコックス症	15	0	梅毒	348	2
オウム病	35	1	破傷風	50	1
急性ウイルス性肝炎	529	3	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	45	0
Q熱	6	0	マラリア	53	0
クリプトスポリジウム症	5	0	ライム病	4	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	81	3	レジオネラ症	109	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	43	0			
後天性免疫不全症候群	624	6			
コクシジオイデス症	1	0			

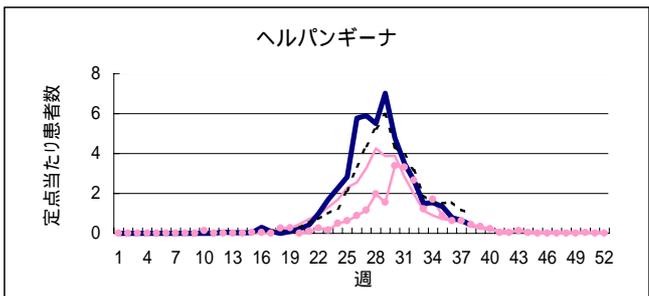
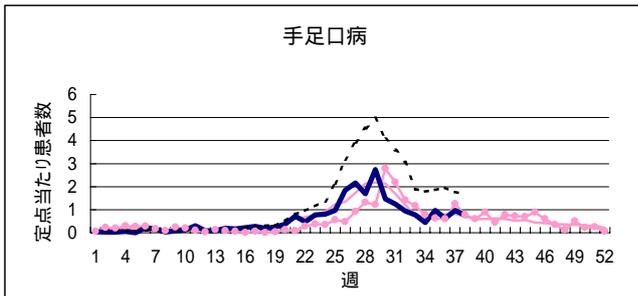
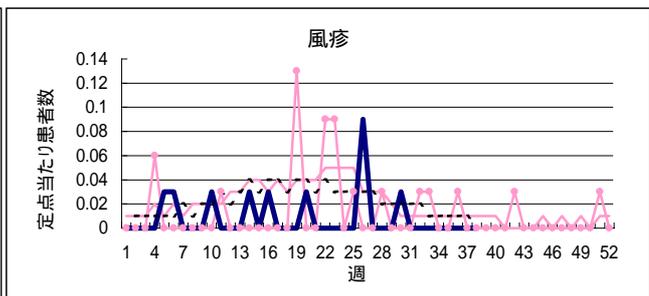
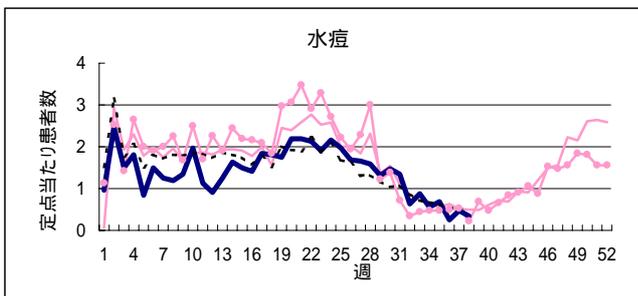
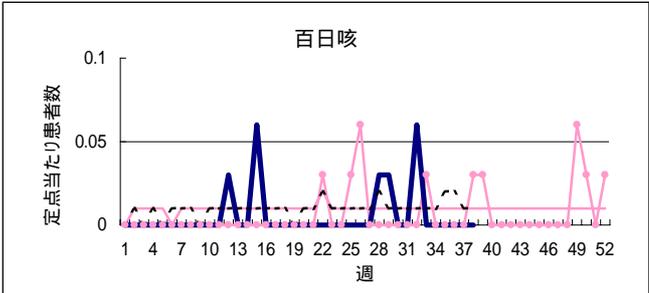
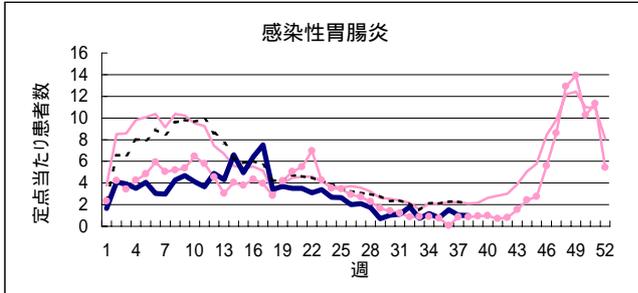
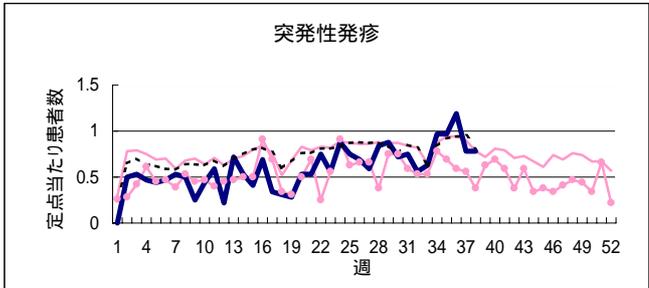
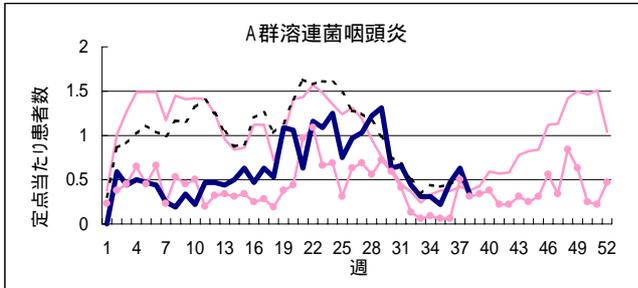
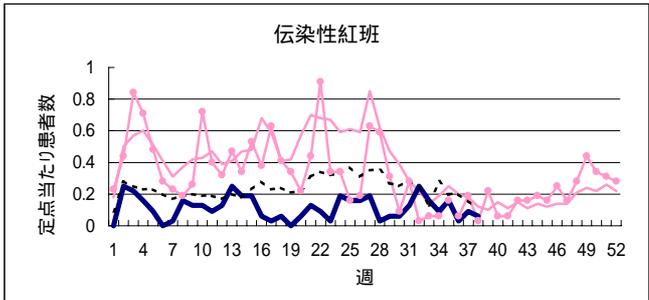
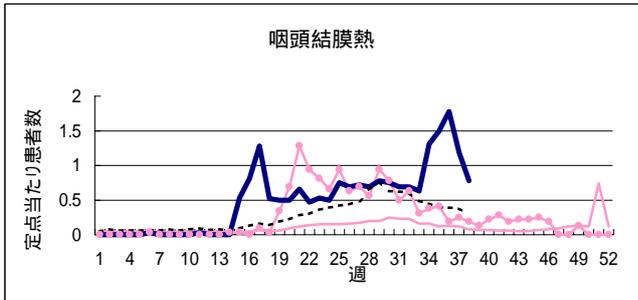
(暫定値)

全数報告感染症(1~4類)の発生状況(平成15年第1週~第38週)

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第38週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (light pink line)
H15 { 滋賀 (dark blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第38週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ————
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

